

熊本県球磨郡球磨村の持続に寄与する取り組みについて

～ふるさと納税を利用した地域振興案～

熊本学園大学 / 球磨村班 / 伊津野ゼミ

加門 実椰美 干野文耶

地域課題の選択 ①「令和2年7月豪雨の被災地における地域の持続に必要な取り組みについて」

1. はじめに

今回の地域課題解決の対象地域として球磨村を選んだ主な理由は、令和2年の災害で最も甚大な被害を受けたことです。また、被災前においても人口減少に歯止めがかからず、球磨村の消失の危機が迫っていると感じたことから、早急に対応できるような取り組みを検討したいと考えました。

2. 現状分析/調査内容

①現状分析

球磨村の人口は減少傾向にある。図1のグラフは、災害が起こる前と起こった後の人口予測です。2020年は、災害により人口が34.1%減となりました。これから同じような災害が起こると仮定すれば、2040年には年少人口がいなくなってしまう恐れがあります。

どちらにせよ、球磨村の人口減少は止まらず、このままでは球磨村の消失の危機が迫っています。このような急速な人口減少の原因として、地域の目指す姿とそのギャップが大きすぎるものが考えられます。球磨村は、人口・労働・災害のすべての面からみてかなり不利な状況にあります。

球磨村への移住の現況として移住してからの仕事が少ないことでの生活不安や、住宅不足、紹介する空き家が山間部の不便な地域に点在している等の課題があり、興味があっても中々移住までに至らないといった状況となっています。

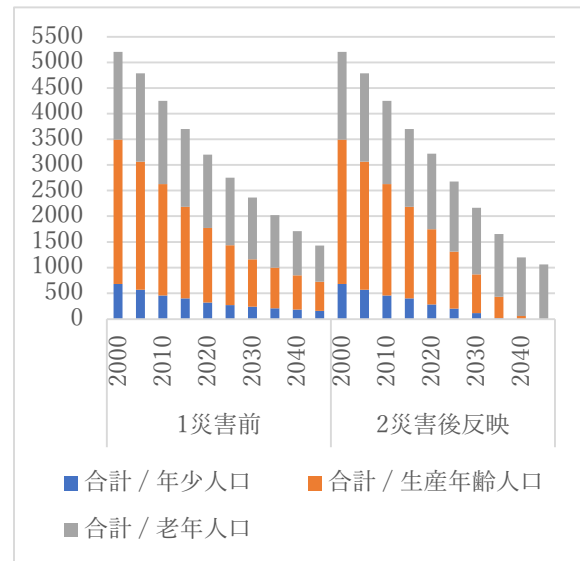


図1) 球磨村の今後の人口予測(災害前、災害後)

3. 課題に対する解決策と具体的な政策アイデア

現状分析より、今の状況ですぐに新たな住民が球磨村に越してくるのは厳しいと考えます。しかし、将来的に移住を促すための接点づくりはすぐに行うことができると考えます。そこで、この課題に対する解決策として、球磨村への流入人口を増やし、村との関わりを持つ人々を増やすことを目標とします。

具体的な案としては、ふるさと納税を活用したツアーを提案します。球磨村は高齢化の影響や、農業の衰退によって第3次産業に就業する人々が増えています。しかし、コロナウイルスや水害によって第3次産業は大打撃を受けました。この提案は、ただの観光ではなく、目的を持った観光です。ターゲットは、受

